

令和8年度
船橋・習志野心不全連携協議会研修
船橋在宅医療ひまわりネットワーク合同

～今回は『心不全患者を地域で支える取り組み』をテーマに学びます～

「船橋在宅医療ひまわりネットワーク」では、在宅医療の充実と医療・介護の連携に向けて、多職種間の関係づくりや人材育成に取り組んでおります。

その一環として設置された「船橋・習志野心不全連携協議会」では、心不全地域連携パス・心不全手帳の普及・活用に向けた協議を重ねており、この度、さらなる推進を目指して研修会を開催いたします。

令和8年

会場

ZoomによるWeb開催

11月25日(水)

参加費

無料

19:30～20:45

対象

医療・介護関係者

(19:20入室開始)

定員

100名(先着順)

講義テーマ

「心不全患者を地域で支える取り組み -症例から学ぶ-」

座長：^{おきの}沖野 ^{しんいち}晋一 先生 船橋市立医療センター 循環器内科部長

講師：^{ゆみの}弓野 ^{だい}大 先生 医療法人社団ゆみの 理事長

※最初の10分程度は、「船橋・習志野心不全連携協議会」の事務連絡や意見交換の時間になります。

申込方法については裏面をご覧ください ➡



船橋在宅医療
ひまわりネットワーク

申込期日

令和8年11月13日（金）

申込方法

【二次元コード】

次の方法により、お申し込みください。

下記のURLあるいは右記の二次元コード

【URL】 <https://ttzk.graffer.jp/city-funabashi/smart-apply/apply-procedure-alias/shinfuzen1125>



※研修会への参加にあたり、ID・パスコード・資料など、研修の参加に必要な事項については11月25日（水）当日開催前までにメールにてご連絡いたします。
届かない場合は、お手数ですが事務局までお問い合わせください。

問い合わせ先

船橋在宅医療ひまわりネットワーク事務局
（船橋市 地域包括ケア推進課内）

【TEL】 047-436-2354 【FAX】 047-436-1005

【E-mail】 hokatsu-care@city.funabashi.lg.jp

人材育成委員会の活動について

船橋在宅医療ひまわりネットワーク人材育成委員会では、医療及び介護の専門職等が連携を図る上で必要な知識を習得する機会を以下の研修スキームに沿って設けています。

【在宅医療・介護連携における人材育成の研修体系】

R7在宅医療・介護連携における人材育成の研修体系(暫定版)

【目的】 多職種(及び多機関)による連携により、本人のその人らしさを支える支援を行う

【目標】 本人が満足できる連携の知識を習得し、
連携をマネジメント出来る！

すそのが広がる！

○疾患別の特徴等に応じた基礎的知識(※1)、在宅医療と介護連携のイメージを想定した応用的な知識(※2)を通じて、多職種(及び多機関)連携の必要性を学び、活かす。
○「対話」を通じて、本人の尊厳を守る(本人の選択・決定)支援をどのように行うのか学び、活かす。
○医療・介護関係者が本人の尊厳を意識した多職種協働による一体的な連携(アプローチ)方法を学び、活かす。

○多くの医療・介護関係者が、多職種(及び多機関)の協働・連携に関する研修に参加する。
○医療・介護の職種によりそれぞれ視点があることや、個々の価値観や文化も様々であることを学び、活かす。
○顔の見える関係、仲間づくりを行える。

【研修体系スキーム】

※2【ひまわり連携応用研修】

・在宅医療と介護連携のイメージを想定した応用的な知識を習得する。
・多職種(及び多機関)によるチームアプローチや病院・在宅の連携方法等を実践的に学ぶ。

研修領域は定めず、医療と介護が主に共通する4つの場面「日常の療養支援」「急変時の対応」「入退院支援」「看取り」等の実際の場面を想定した研修。

※1【ひまわり連携基礎研修】

・疾患別の特徴等に応じた基礎的な知識を習得する。
・多職種(及び多機関)によるチームアプローチや病院・在宅の連携方法等の基本を学ぶ。

疾患編

悪性新生物、心疾患、脳血管疾患、難病、感染症など

研修領域

その他

高齢者特性、緩和ケア（非がんを含む）、災害など

各研修の修了時に、ポイントを取得

ひまわりマイスター認定
検討中

各団体においては、各職能別・施設ごとに必要な基礎知識を習得できる研修会を実施するとともに、ひまわり研修への参加の働きかけを行う。

【ひまわりネットワークの目指す多職種連携とは】

準備中



船橋在宅医療
ひまわりネットワーク